

特集「ともに働き 輝く社会へ」 ～障害と就労を考える～

☎ 福祉課障害者福祉係 ☎ 286-3161



約15人に1人。これは厚生労働省の調査に基づく何らかの障害がある人の割合です。

障害があるということは、特別なことではありません。

今月は12月の障害者週間（12月3日～9日）にあわせて、「障害がある人もない人も共に働きやすい職場づくり」に向けた取り組みと、その取り組みを支える支援窓口について紹介します。

広報 ふちゅう 12

目次

- 02 「ともに働き 輝く社会へ」
～障害と就労を考える～
- 06 まちのわだい
- 07 令和2年度上半期 予算執行状況
- 08 令和元年度 決算概要
- 10 町からのお知らせ
保育所・認定こども園・地域型保育
事業入所申請受け付け／ひろしま
エコチャレンジ など
- 12 ふちゅう子育て応援イクフレ
- 14 くらしのガイド
お知らせ／健康／講座・学習／募
集／イベント／スポーツ／相談
- 21 図書館だより／消費生活相談
- 22 府中町消防署からのお知らせ／
正しいごみ出しにご協力を
- 23 今月のカレンダー
休日当番医、施設の休館日など
- 24 A I 自動問い合わせ対応サービ
ス(A I チャットボット)

町からのお願い

本紙に掲載している行事等は新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減のため、手指消毒の徹底など基本的な対策を行った上で、実施します。参加される人は、マスク・フェイスシールドの着用などご協力をお願いします。

※状況に応じて、内容の変更や開催を中止する場合があります。

今月号の表紙



特集のテーマにあわせ「誰もが生き生きと働ける社会」をイメージし撮影したものを組み合わせました。

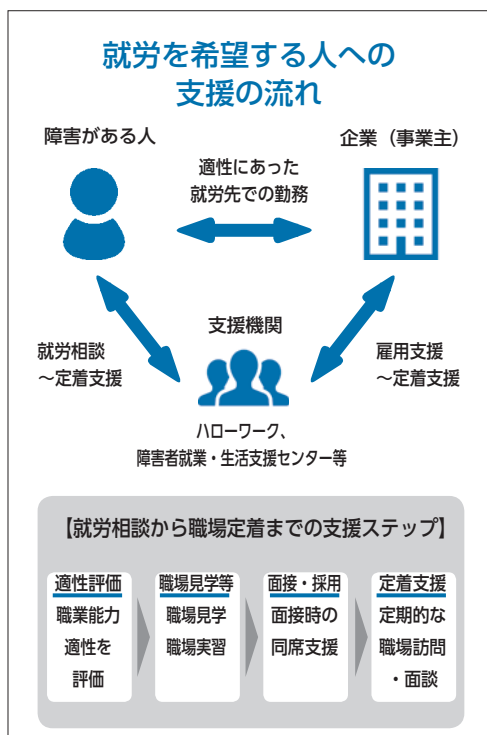
障害がある人もない人も 生き生きと働く職場づくりのために

広がる活躍の場

広島労働局の調査によると、昨年、広島県内の民間企業で雇用されている障害がある人の数は約1万1千人、実雇用率は2・18%とともに過去最高を更新しています。一方、精神障害や重度の障害がある人の雇用数や中小企業における雇用割合は依然として低く、受け入れ態勢の確保など雇用の拡大にはなお課題があると言われています。

就労を希望する 障害がある人への支援

「障害がある人」といっても、その内容や程度はさまざまです。また、同じ診断名の人でも、得意なことや支援が必要な内容は大きく異なります。そのため、各個人の職業能力と適性にあった就労先へとつなぐよう、公共職業安定所（ハローワーク）などの支援機関が連携し、就労相談から職場定着までの一貫した支援が行われています。



雇用者の声

強みを活かして働くことで、職場で大きな力を発揮

「障害がある人もない人も共に働きやすい職場」について、町内で障害者雇用を進めている企業の皆さん、そこで働く皆さん、その両者をつなぐ皆さんにそれぞれの立場からお話を聞きました。



株式会社サンリブ
サンリブ府中 店長

苦手なことがあっても活躍できる

私の職場はスーパーという性質上、どうしても接客が主と思われるがちですが、仕事はそれだけではありません。

例えば当店の場合、開店準備などの品出しはとて大変なのですが、今働いてくれている山岡さん（4ページ）の力が大きな助けになっています。

足が少し不自由であれば移動にエレベーターを使う、話すのが少し苦手であれば周りで働く人がさりげなくサポートする。こうした少しの気遣いがお互いに働きやすい環境づくりにつながっています。障害の影響で少し苦手なことがあっても、得意なところを活かすことで活躍の場はまだあると思います。



新和金属株式会社
代表取締役 社長
新谷 浩之さん

強みを活かすことが大事

私の会社では、障害がある人の就労のマッチング・支援を行っている知人をお願いし、社に必要な人材として障害がある人の雇用を進めています。

府中工場で働いている障害がある人の勤務内容や年数はそれぞれ違いますが、どの人の仕事ぶりも、障害のない人の仕事ぶりとは大きな差はありません。これは、入社前からきちんとその人の強みやスキルを理解し、その人の能力を活かした仕事に従事してもらっているからだと思います。

困りごとを抱え込むことがないよう、就労支援のサポートや面談など、気軽に相談できる場を設けることで、働きやすい職場づくりを進めていけると 생각합니다。

働く人の声

職場での「ありがとう」や思いやりが力になる



助永 笑子さん

聞けば誰かがサポートしてくれる

私は、普段、製品運搬やライン作業など、主に現場で仕事をしています。この会社に入社してから、もう40年以上になります。

.....

「ありがとう」の言葉がやりに

私は、パソコンのスキルを活かして入社しました。普段は社内パソコン作業のサポートや納品管理などの仕事に従事しています。

相談が苦手で、1人で抱え込んでしまつところがあるのですが、今は悩んでいると気にしてもらえ、相談できる場所や支援してくれる人もいたので、落ち着いて仕事



高木 勇治さん

できています。また、パソコンが得意で、社内サポートしたときに「ありがとう」と言ってもらえることが今の仕事のやりがいにつながっています。



山岡 浩さん

困っているのを気づけなく助けてくれる

私は、ハローワークからの紹介で働き始めました。職場では、商品の品出しや賞味期限チェック、翌日の売り出し準備などを行っています。

働き始めて10年になります。みんなが親切でとても助かっています。例えば、障害の影響でしゃべることが少し難しいので、品出し中のお客様から商品の場所を尋ねられて説明に困っていると、同僚がさりげなく助けてくれます。ほかに、品出しの場所が分からない時には一緒に探してくれたり、さりげなく手助けしてくれて、とても感謝しています。

■ハローワーク広島東

求人の紹介や窓口相談を受け付けています。

【所在地・問い合わせ先】

〒732-0051 広島市東区光が丘13-7

☎ 264-8609 / FAX 264-1355

(月～金) 8:30～17:15※土日祝を除く。

■広島障害者職業能力開発校

障害のある人に、さまざまな職業についての知識や専門的な技術・技能を習得してもらうために、広島県が国から委託を受けて運営する職業能力開発施設です。

【所在地・問い合わせ先】

〒734-0003 広島市南区宇品東4丁目1-23

☎ 254-1766 / FAX 254-1716

◆募集案内など詳しくは、広島県ホームページをご覧ください。

■広島県発達障害者支援センター

発達障害のある人のライフステージに応じて、相談支援、発達支援、就労支援などを行っています。

【所在地・問い合わせ先】

〒739-0001

広島県東広島市西条町西条414-31 (サポートオフィスQUEST 2階)

☎ 082-490-3455 / FAX 082-427-6280

どこに相談していいかわからないなど、相談先が分からないときは福祉課障害者福祉係(役場2階6番窓口、☎ 286-3161・FAX 283-5775)に相談してください。障害の種別や就労の希望などに応じて窓口を紹介します。



つながる人の声

働きたい人・雇用する人を

つなぎ、支援する

障害者就業・生活支援センターは、就職を希望する障害者がある人の支援を行うセンターです。就職に関する相談や就職活動の支援、就職後の定着支援まで継続した支援を行っています。

相談に来られる人の障害種別は身体障害、知的障害、難病などさまざま。なかでも精神障害がある人からの相談が最も多いです。

また、就職を希望する障害者がある人の支援のほか、障害者雇用を進めている雇用主からの相談も受け付けており「働きたい人（求職者）」と雇用する人（企業）のつなぎ役として支援を行っています。

就業定着率は8割以上

障害がある人が、自身の能力を活かせる職場へ就職できることも大切ですが、就職した職場で生き生きと長く勤めることのできる環境づくりも大切です。

そのために私たちは、就職後も定期的に職場訪問し、面談やアドバイスをを行うことで長く勤められるよう支援しています。私たちがつなぎ役として加わることで、認識のズレやすれ違いを小さいうちから解決することができ、平成30年の開所以降、当センターの支援を受け就職された人の職場定着率（1年間同じ職場で働いている人の割合）は8割以上となっています。これから、当センターを通じて就職した人が職場で生き生きと働けるよう支援していきたいと考えています。



広島東障害者就業・生活支援センター
就業支援ワーカー 萬行 裕紀さん

就職・雇用に関する関係機関・相談窓口

■広島東障害者就業・生活支援センター

ハローワークや企業・学校・医療機関・福祉サービス事業所などと連携し、障害のある人の就労、生活のサポートと雇用主（事業主）の雇用サポートを行っています。

【所在地・問い合わせ先】

〒732-0053 広島市東区若草町15-20（就労サポートセンター SOAR 5階）
☎ 262-5100 / FAX 262-5102
（月～金）8：45～17：30 ※土日祝を除く。

■広島障害者職業センター

障害者職業カウンセラーなどを配置し、ハローワーク、障害者就業・生活支援センターと連携して就職や職場復帰を目指す障害のある人、雇用主（検討中含む）、就労を支援する関係機関への支援・サービスを行っています。

【所在地・問い合わせ先】

〒732-0052 広島市東区光町2丁目15-55（広島市児童総合相談センター2F）
☎ 263-7080 / FAX 263-7319
（月～金）8：45～17：00※土日祝を除く。

「違い」を正しく理解し、誰もが働きやすい社会へ

今回取材したどの職場からも、社員間の「つながり」を大切にし、明るく相談しやすい職場という共通の雰囲気伝わってきました。「障害の特性を理解し、当たり前前に接する」「相手の立場に立つて、必要な時にそと手を差し伸べる」。こうした小さなことの積み重ねが、誰もが持てる力を発揮しやすい社会につながります。「違い」を正しく理解して、今、私たちにできることを考えてみませんか。